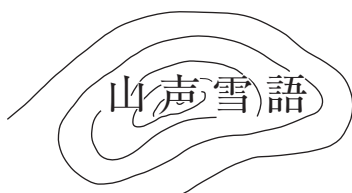


京交山岳部報

例会予告 (2016年12月～2017年2月)

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2750回 府民 紅葉観察会 京大・上賀茂試験地 (岳連自然保護委員会主催)	12月4日(日) 集合 AM 9:00 叡電 出町柳駅前	方山宗子 岡田茂久	世界の様々な植物が植栽されている京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地で、紅葉と珍しい植物等を観察します。
<p>[持ち物] 雨具, 筆記用具, 弁当, 山道が歩ける靴, ルーペ等 ※雨天決行です。 [参加費] 山岳会員500円 一般1,000円 ※小中学生は無料(保護者同伴のこと) [備考] 叡電出町柳～精華大学前駅間の運賃が別途必要です。 [申し込み締め切り] 2016年12月1日(木曜日)までに担当者まで連絡してください。</p>			
第2751回 納山祭 丹後半島 猿ヶ尾(3△401.0) カニの暴れ食い	12月17日(土) ～18日(日) 集合 AM 8:00 竹田駅西口	清水康裕 岡本義弘 吉田 武	17日 京都縦貫道～与謝天橋立 IC～R178伊根町登山口 …猿ヶ尾往復～経ヶ岬～ 間人(泊) 18日 間人～久美山町兜山～ R312・R9出石町～R426 ・R9福知山IC～京都縦 貫道～竹田
備考 はしうど荘に泊ります。			
第2752回 初登山 湖南 烏ヶ嶽(3△484.9)	平成29年1月9日(月) 集合 AM 9:00 竹田駅西口	清水康裕 松田誠二 堀田 剛	京都南IC～栗東湖南IC～R1 三雲～広域農道～登山口…烏ヶ 嶽往復～R1三雲～栗東湖南IC ～京都東IC～烏丸五条(解 散)
備考 ぜんざいをします。各自, モチ・防寒具・嗜好品を持参のこと。会費500円。			
第2753回 雪の北山を歩く 天ヶ森(ナッチョ) (3等△812.6)	平成29年2月4日(土) 集合 AM 8:00 地下鉄国際会館駅 白川通北側出入口前	井戸澄夫	国際会館駅～大原～小出石…天 ヶ森往復
備考 マイカーで行きます。冬山日帰りの装備。			

12月の集会 日 時 12月8日(木) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)	12月の企画運営委員会 日 時 12月21日(水) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)
1月の集会(新年会) 日 時 1月6日(金) 18:30～ 場 所 四条烏丸下ル かごの屋(雑報参照)	1月の企画運営委員会 日 時 1月25日(水) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)



あと1枚

吉 田 武

あんなに沢山あった月めくりカレンダーがあと1枚になった。

今年も初登山で登った三重県と滋賀県の県境にある神山(419.6m)と、滋賀県甲賀市水口町広徳寺の庚申山(406.7m)が、目に浮かぶ。月日の経つのは早いものである。

今年も僕は簡単にラクして登れる山を目指して1年を通してきた。

パソコンで日本地図を出して三角点を選び、簡単に登れそうな山を目指した。

府県境から近畿地方、そして北陸地方、中部地方に足を延ばした。1ヶ月に1度ないし2度の割合でコンスタントに30座登ったが、しかし今年の夏は暑かった。

特に8月に琵琶湖にある島の1つ、沖ノ島の三角点(沖ノ島村)に行った時には登っている途中で熱中症状状態になって登山道にシートを敷き横になって休息したことがあった。本当に今年は暑かったが、くれぐれも無理のない山行がしたいものだ。

最近、東近江市の奥永源寺の君ヶ畑に行く。以前、石樽峠から竜ヶ岳に登った帰りに君ヶ畑の木地師、小椋昭二さんと会って仲良くなり度々訪れて木地師の事を詳しく教えてもらった。気さくな人で仕事の手を休めて話し相手をしてくれる。

6月に読んだ文芸文庫の本に「近江山河抄」白洲正子書の中に木地師の事が書いてあった。

「木地師は日本全国に散らばっていたが、その本拠は湖東の君ヶ畑にあり、滋賀県高島市朽木谷の木地師も、平安時代にこの地に渡って住み着いた。木地師らは惟喬親王にロクロの技術を学び、親王を祖先神として崇め、絵姿を掲げて仕事をしていた。東北地方のこけし職人などにはその風習が、今だに残っているようである」と書いてあった。今は君ヶ畑に「ロクロ工房(君空)」の小椋昭二さんと、蛭谷の「木工(きたの)」の北野清治さんの2名が、木地師として活躍されている。

木地師の歴史はすごく興味があってぐんぐんと引かれていく。9月に中学校の同窓会が滋賀であったので、君ヶ畑の「ロクロ工房(きみもく)」の小椋昭二さん宅に見学に行ったが、相変わらず親切に木地師の説明と木地の木目の使い方等を説明してもらい、次回またこの近くに来た時には立ち寄る約束をして別れた。

今年もあとわずか、納山祭は丹後半島の点名「猿ヶ尾」401.0mに登り、京丹後市間人でカニを沢山食べたいと思っている。

【第2747回例会報告】

H28. 10. 20

弥十郎ヶ岳 2等三角点 715.0m 「滑落始末記」

R372篠山市，辻から辻川沿いに林道をしばらく進むと猪除けの柵がしてあったが，門扉を開けて中に入る。ガードレールのしてある立派な林道であるが，石ころがたくさん道路に転がっている。

ゆっくりと走行しなければやばい。標高380m位の分岐に駐車して身支度をする。地図の破線通りにはテープがなく谷沿いにピンクのテープがあったので探しながら登っていくが，どうも植林の踏み跡のようで，あまり信用せずにスギ林の中の谷に沿って登るが，雨が降った後なのでぬかるみよく滑る。1時間程登って標高550m位で滑落転倒した。右足首がポキンと音がしたので，シマッター。足を捻挫したみたいで…歩いて帰れそうもないが，何とか車まで下山しなければならないのでストックに頼りながら，1時間40分ほどで車に着いた。アクセルは何か踏めそうなので家の近くの整形外科を探したが，午後なので休診。仕方なく西京都病院に行つて診察をしていただくと，右足首のくるぶしの上で腓骨が折れていますと言う診断。

外科の先生だったので翌日に整形外科の先生に診断してもらうようにと言われて帰宅した。残念。

他1名

【第2748回例会報告】

2016年10月29日(土)

加賀大日山

井戸澄夫

例会予告では10月29日～30日，泊りがけで登る予定であったが，30日に急用が発生して29日の日帰り山行に変更した。天気予報では29日から大陸の高気圧が張り出して来るということであったが，東日本には低気圧の影響が残るということで，石川県は微妙な位置であった。

28日(金)PM9時に京都出発。北陸道の南条SAで仮眠をとる。翌早朝の天気は雨。

天候の回復をAM8時まで待ち，小雨から曇りにかわったので，福井北ICからR364を北上し山中トンネルを抜けて石川県に入った。ところが石川県に入ると雨が再び降り出した。秋の冷たい雨である。富士写ヶ岳の登山口にある吊橋の前の駐車場で雨の収まるのを待ったが，AM10時になっても降り止まない。その時点では加賀大日山に登るのは，行程的に無理になっていた。富士写ヶ岳には登山可能であったが，冷たい雨の中を登るのは止めたほうがよいと判断した。

山中温泉の共同浴場「菊の湯」でゆっくり朝風呂に浸かった。ここの湯に入るのは久しぶりである。風格ある建物であり，歴史を感じさせる名湯である。風呂から出ると，雨はようやく止んでいた。鶴仙溪の遊歩道を約1.5km，こおろぎ橋から黒谷橋まで溪流に沿って歩いた。紅葉が始まっていた。芭蕉は「奥の細道」の旅で山中温泉が気に入り，「山中や菊は手折らじ湯の匂い」の句を残している。

昼食は丸岡の谷口屋で、福井県名産の油揚げステーキを食した。ボリューム満点であった。午後は大野に行き、名水巡りをし、朝倉義景の墓所を拝した。帰路に着く頃には、秋の青空が広がっていた。前回の熊野果無越の例会も雨に祟られたが、今回も雨で登れず残念であった。次の機会にかけることにする。

【参加者】 井戸澄夫, 他1名



山中温泉鶴仙溪



福井名産油揚げステーキとそば

【個人山行 28.10.21-23】

高ボッチ山 (1665.2m) と諏訪湖マラソン

烏丸山下幸宏

今年で4年連続出場となる諏訪湖マラソン。大会前日エントリーする為、21日深夜出発する。22日、マラソン前日に軽く山に登ろうと考えていた。家族も一緒なので車でほぼ山頂まで行ける高ボッチ山を選んだ。

早朝4時30分頃、高ボッチ自然保護センターに着く。天候は曇り気温7℃であり寒くない。周りには多くのカメラマンがいる。私も夜が明けるまで撮影することとする。この場所は、富士山と諏訪湖を撮影する有名スポットであるからだ。以前2回この場所を訪れたが、思った通り写せなかった。この日も結局富士山は現れなかったのが、残念であった。6時過ぎ、嫁と子供は車内で寝ているので一人で高ボッチ山頂に向け歩きだす。山頂は目の前に見えていて、駐車場から5分で着いた。平凡な広い山頂、八ヶ岳連峰がガスで見え隠れしている。諏訪湖は良く見えている。「明日、一周走るんだな」と思っていた。槍穂高は、雲もなく良く見えている。その後、塩尻市の平出遺跡公園に行き、そこで開催されていた信州塩尻「そば切り物語り」というイベントがあり、ひすい蕎麦を食べ、秋を堪能した。13時30分諏訪市の東洋バルヴ跡地でエントリーを済ませ近くの片倉館で入浴、いつもの宿に向かう。

翌23日、7時30分諏訪合同庁舎臨時駐車場に車を置き、諏訪湖ヨットハーバー出発地点に行く。天候は曇りから晴れ。ランナーも多く(約8,000人)、会場はごったがえしている。9時40分、時間が来たのでゼッケン番号順に並ぶが、風が強くなり寒い。10時スタートで最後尾近くからのスタートで結構待った。そして15キロ地点付近まで順調なペースであったが、このあたりからペースダウンした。

沿道の声援もあり、水やおやつを所々で頂き、また風景も最高であり、楽しく走ることが出来た。12時過ぎ完走し、景品を貰って伊北インター近くにある「ながたの湯」に入り帰京した。自宅に着いたのは、午後8時前だった。今回もスタート前、右膝にテーピング（有料）をしてもらったので、ほとんど痛みはなかったのだ、この選択は正解である。だが、次回もっと距離が短い大会に出場したい。

【参加者】 山下幸宏



高ボツチ山



諏訪湖ヨットハーバーにて

【個人山行 28.11.5】

七面山（1,989m）

烏丸 山下 幸 宏

法華経の聖地として名高い「七面山に行かないか」と誘われたのは、確か今年の6月下旬であった。それから約4カ月半の11月6日に登る事となった。誘ってくれたのは、錦林車庫から烏丸へ異動になった同じ運転手である保田氏。普段、職場での素行が悪い私を誘ってくれるとは思ってもいなかったし、しかも友達もない私は、一つ返事で「行きます」と言った事は、忘れられない出来事である。

11/5 21時30分、外環三条手前で待ち合わせ、東ICから新清水IC→国道52号を北上し、七面山表参道登山口の羽衣を目指した。到着したのは翌日6日深夜1時40分で、杉と杉の木の間に駐車。車中で寝袋に入って仮眠する前、私は缶ビール1本飲んだが、あまり眠れなかった。5時40分起床、簡単に朝食を取り、6時15分山頂を目指して出発。天候は、快晴で気温10℃。意外と暖かく、しかも今回は体調万全である。そして鳥居をくぐって歩き始め、登山口一丁目である石灯籠には「元丁目」と記されており、敬慎院（50丁目）まで続く。一丁目ごと石灯籠があるので、自分が今どの辺りまで登っているのかが分かりやすかった。登山道もバッチシ整備されており、ゴミ一つなく綺麗で快適である。参道入口から3分くらいで二丁目である神力坊に到着。杉並木の参道は延々と坂道が続き所々にベンチもあり、屋根つきのものもあった。7時に肝心坊（13丁目）で小休止、お茶を飲み5分程保田氏を待つ。ここから私は、保田氏と一時離れてマイペースで歩き、48丁目の吉祥門まではほぼノンストップで登り続けた。途中、29丁目と30丁目の間に見晴らしの良い場所があったので、少しだけペースダウンして、北岳と鳳凰三山の写真を撮った。また36丁目青雲坊では、白装束を着た老若男女の信

徒約200人が二手に分かれ「南無妙法蓮華經」と唱えながら降りてきた。また信者全員が頂上を目指す私に道をあけてくれたし、「ご苦労様です」、「お気をつけて登って下さい」等言って下さったので、感動した。吉祥門には、9時15分頃着き、続いて隨身門(49丁目)は、最高の展望が待っていた。雲ひとつもない富士山をはじめ、眼下には、身延山(標高1,153m)や、天子山塊の毛無山、長者ヶ岳、また奥秩父の山々が望めた。夢中で写真を撮っていると時間があっという間に過ぎ、焦って「七面山山頂」を指す道標に従って進み、荷物用ケーブル終点地の広場に出た。この地点から一気に、唐松林に変わり黄葉が素晴らしかった。登山道は雰囲気の良い道となっていた。そして左側はナナイタガレと呼ばれる崩壊地があり、タイガーロープが張られ、その右側を進んでいった。やがて七面山山頂(1,989m)10時25分到着。眺望ゼロで何も楽しくない。広めの山頂に2等三角点があり、全く意味のない展望図盤があった。ここでおにぎりを食べ、はなれ離れになっている保田氏に電話をかけた。12時過ぎに隨身門で待ち合わせる事とした。また、この眺望の無い山頂で引き返す登山者がいて私には理解しがたかった。こんなに天気がいいのに、もう少し先に行けば南アが望める所があるのもったいない。私は、眺望を求めてさらに奥の希望峰標高1,980m(七面山の南に位置する小峰)へ向かった。南へ一旦下ったあと、登り返し、約25分で着いた。木は伐採されていて、南アの大展望が得られた。右から白峰三山、塩見、悪沢、策ヶ岳、布引山、聖岳、上河内岳、青蘆山等すべて見えた。神様からの最高のプレゼントをいただいた。今まで苦労して登った南アの山々の事を思い出し、しばらく感動して動けなかった。そして下山は裏参道には行かず、往路を戻った。希望峰から七面山まで約20分、七面山から隨身門(49丁目)まで約30分、隨身門からは、行きに寄らなかった敬慎院(50丁目)をお参りしてからの下山となった。保田氏は、体調が芳しくなく結局敬慎院までの山行となった。無事駐車場に戻ったのは、14時55分で、辺りはやや薄暗くなり始めていた。その後、今夜宿泊する駿河健康ランドまで車を走らせ、着いたのは、17時であった。そして風呂を楽しんで大食堂で一杯やり、反省会をした。翌日7日も天気が良く、すぐ帰京するのはもったないので、三保の松原に立ち寄り、最後に清水港の「河岸の市」で食事、買物をして帰京した。自宅には、17時30分頃到着した。今回、保田氏とは初めての山行であり、かなり緊張したが、静岡好きが私との共通部分であったので、静岡の事を語りながらの山旅はすごく意義があった。今後とも宜しく願いたい。

【参加者】 山下幸宏 他1名



展望のない山頂にて



隨身門前にて

例会報告 (まとめ)

例会 No	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2747	弥十郎ヶ岳	曇り	10月20日(木)	吉田 武	他 1 名	別稿詳報
2748	加賀大日山	雨 曇り	10月29日(土)	井戸 澄夫	他 1 名	雨で登れず 別稿参照

雑 報

△△△ 11月の集会

日 時 11月 9日 (水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出 席 者 井戸, 岡田茂, 方山, 森本, 和田, 清水 6名
内 容 例会結果, 例会予告, 個人山行ほか

△△△ 10月の企画運営委員会

日 時 10月26日 (水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出 席 者 井戸, 方山, 清水
内 容 例会予告, 岳連関係報告 ほか

△△△ 他山岳会の会報 (受贈分)

11 月 号 京都山岳, 趣味の登山, 比良山岳, 木雞

△△△ 平成29年 1 月集会兼新年会のお知らせ

担 当 者 松田 誠二
清水 康裕
堀田 剛
日 時 平成29年 1 月 6 日 (金) 18:30～
場 所 「かごの屋」 四条烏丸下ル 地下鉄四条駅 6 番出入口前
TEL 075-353-8936
※京交山岳部 清水名で予約しました。
会 費 1,000円 (当日徴収)
参 考 参加希望者は, 1 月 3 日 (火) までに必ず担当者まで連絡をお願いします。

想いをカタチにするお手伝い—

京都 洛北の自費出版会社

北斗書房

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
Tel: 075-791-6125 Fax: 075-791-7290
URL <http://www.hokutoshobo.jp>

《 新入部員募集中 》

平成 28 年 12 月 1 日

京都市右京区太秦下刑部町 12

京 都 市 交 通 局 内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp/>